

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	坂上貴之	所属	慶應義塾大学文学部
研究会等名称	第 25 回行動数理研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 23 名 (うち認定心理士 3 名) 非会員 21 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>集会の目的：行動の数理的・定量的分析に関心を持つ研究者間の情報交換と研究の促進を目的として、年 1 回研究集会を開催し、研究集会の講演記録集を刊行している。集会では、研究会の前半に研究方法のテクニックや他の研究分野に関する知識を解説する教育セッションを、後半に一般の研究発表という構成で研究会を実施している。今年は、午前に 1 件の教育セッション、午後には 4 件の研究発表が行われた。</p> <p>実施内容： 日時 2017 年 10 月 9 日 (月・祝) 11 時 00 分より 16 時 40 分まで 場所 慶應義塾大学三田キャンパス 研究室棟 1F A 会議室 プログラム： 午前の部：教育セッション 11：10-12：00 岡田謙介 (専修大学) 『行動分析的データに活用できる (かもしれない) ベイズ統計の方法について』 午後の部：研究発表 13：00-13：50 水谷優斗 (愛知学院大学) 『iOS デバイスを用いた行動分析学の研究・教育支援アプリケーションの開発』 13：50-14：40 片山 綾 (大阪市立大学) 『報酬の損失を考慮したセルフ・コントロールパラダイムの検討：遅延割引との関係』 14：50-15：40 畑 佑美 (大阪市立大学) 『ハトにおける強化前遅延と強化後遅延が選択行動に及ぼす影響—全体的強化密度モデルの検討—』 15：40-16：30 松井 大 (慶應義塾大学) 『VR、VI スケジュールにおけるバウター休止パターンに関する時系列モデリング』</p> <p>成果・将来計画：教育セッションでは、ベイズ統計を行動分析的データに適用するという、斬新で有用なチュートリアルがなされた。研究発表は、実験装置の開発からヒトや動物を対象とした定量的な実験的行動分析に関する研究まで、多様なテーマにわたり発表がなされた。参加人数は 44 名と多く、質疑応答も活発になされた。今後とも、行動の定量的研究に関心を持つ研究者のニーズを捉えた、自由な議論が展開できる研究集会を目指していきたい。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
第25回行動数理研究会				
研究集会開催日： 2017年 10月 9日(月・祝)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	佐伯大輔	大阪市立大学	○	
2	片山 綾	大阪市立大学	○	
3	北條理恵子	労働安全衛生総合研究所	○	
4	下田翔太	同志社大学	○	
5	中村健太	同志社大学		
6	河本侑己	専修大学		
7	謝花隆之	専修大学		
8	岡田謙介	専修大学	○	
9	松井 大	慶應義塾大学	○	
10	山田航太	慶應義塾大学		
11	青山謙二郎	同志社大学	○	○
12	岸村厚志	大阪市立大学		
13	太田桂輔	理研BSJ		
14	伊藤幸生	東京電力ホールディングス(株)	○	○
15	東辻保則	滋慶医療大学院大学		
16	神前 裕	早稲田大学		
17	関根 悟	慶應義塾大学		
18	鮫島和行	玉川大学		
19	伊藤正人	大阪市立大学	○	
20	中村 敏	大阪市立大学	○	
21	加藤大貴	専修大学		
22	石井 拓	和歌山県立医科大学	○	
23	水谷優斗	愛知学院大学		
24	繁樹算男	慶應義塾大学	○	
25	飛田伊都子	滋慶医療大学院大学	○	

	氏名	所属	会員	認定 心理士
26	盛田一孝	慶應義塾大学		
27	坂上貴之	慶應義塾大学	○	
28	平岡恭一	弘前大学	○	
29	森井真之	慶應義塾大学	○	
30	宮崎康輔	慶應義塾大学		
31	大森 淳	専修大学		
32	伊東佳奈美	河合塾		
33	中村達大	常磐大学	○	
34	中山颯次郎	筑波大学		
35	折原友尊	明星大学		
36	古野公紀	帝京大学	○	
37	畑 佑美	大阪市立大学		
38	山口哲生	東邦大学	○	○
39	住友順子	滋慶医療大学院大学		
40	藤巻 峻	慶應義塾大学	○	
41	福田実奈	同志社大学	○	
42	丹野貴行	明星大学	○	
43	氏原勇祐	慶應義塾大学		
44	甲村美帆	群馬県立女子大学	○	
45				
46				
47				
48				
49				
50				

(様式5)

2018年 3月 14日

日本心理学会研究会 2017 年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 行動数理研究会

研究会番号 研17010

助成金額 ¥30,000

年月日	項目	金額
2018年3月12日	印刷費 (講演記録集)	¥30,000

支出合計 ¥30,000